

伊那と木曾、ふたつの谷を結ぶ

飯田市と南木曾町の境にある峠(標高1,385m)。大平街道は伊那と木曾、両方の谷を最短距離で結ぶ街道で、大平峠と飯田峠の二つの峠がある。この道は16世紀後半から活用され、1755(宝暦5)年に飯田藩主堀親長が改修した後は、清内路峠より距離的に近い大平峠が人馬の往来で栄えた。大平には旅籠、休み茶屋、問屋もできて宿場町の機能を持つようになった。明治・大正には大平宿として隆盛した。しかし、飯田線の全線開通、自動車輸送の発達により宿場としての機能は衰え、1970(昭和45)年、集落は集団移住し、廃村となった。



峠のトンネルから、南木曾町を見通す



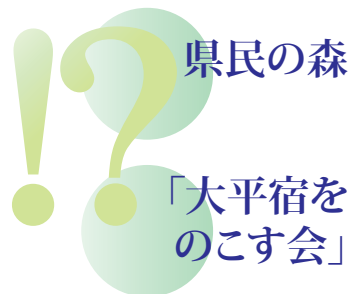
大平宿



県民の森



飯田市と南木曾町の境にあるトンネル



県民の森

「大平宿をのこす会」

標高1,300mに広がる高原で、美しい天然林の中に散策路も設けられ、南アルプス、御嶽山、遠方には乗鞍岳も見える。県民の森周辺の池はモリアオガエルの産卵池としても有名である。(開園期間5月~11月)

集団移住した当時のまま残されている民家には、どの家にもいろいろがあり、宿泊施設として貸し出されている。昔ながらの生活体験ができる。観光面の効果や宿場の遺構として文化的な価値も高いが、会の発端は自然保護活動が目的であった。

information

□ アクセス

飯田ICから30km
車→60分

□ 所在地

飯田市上飯田



(国土地理院の数値地図200000(地図画像)を使用)